

さのさ節 (都町かき夫専用)

- 1 今しばし 文もよこすな便りもするな 僕の勉強の邪魔になる
晴れて卒業のね 暁には 天下晴れての僕の妻 さのさと
- 2 それだから 僕が忠告したではないか 芸者の親切セッタの裏金
金があるときゃね ちやほやと 金がなくなりゃ切れたがる さのさと
- 3 それは嘘よ 今の芸者は昔と違う 金があろうと無かろうと
ちょっとやそっとじゃね 切れやせぬ 共に白髪が生えるまで さのさと
- 4 あらいやだ そんな所にお手手を入れて 入れたお手手が臭くなる
入れて抜いてもね 入れたがる ほんにあなたは好きな人 さのさと
- 5 あらまゝ出来た 今日の祭りの宮出しに 二人に良く似た男の子
妻に似たならね 天才児 僕に似たなら屋台かき さのさと
- 6 恋結び 蝶よ花よと育てた娘 今日他人の嫁に行く
名残惜しさにね 見送らぬ 今度来るときゃ孫連れて さのさと
- 7 この世はね 億万長者の嫁よりも 好いたあなたのそばが良い
手鍋提げてもね いとやせぬ 好いた同士で暮らしたい さのさと
- 8 ほのぼのと 風が差し込むあばら屋も なんの辛かる共苦労
好いて好かれてね 暮らすなら 夢に黄金の花が咲く さのさと
- 9 いざ行こう 次の行くところ『お旅所』目指し 力が入るよ担き比べ
意気の見せ場にね 血が騒ぐ 鳴らせ太鼓に祭り唄 さのさと
- 10 あの花は 粋な花だよよその花 あの花気ままに咲くならば
一枝折りてね 床に差してね あの花散るまで眺めたい さのさと